

会報

No. **126**

令和 7. 3. 1

龍野図書館創立100周年を迎えて

たつの市立龍野図書館 館長 かわべ きょうこ 河部 恭子

たつの市立龍野図書館は、大正13年に図書館が落成して100周年を迎えました。龍野図書館設立のきっかけとなったのは、童謡「赤とんぼ」の作詞で知られる龍野出身の詩人三木露風です。三木露風は龍野に帰郷した際に、自らが生まれ育った郷土の文化の発展を願って、図書館設立資金の一部にと、旧友である龍野小学校長に100円の寄附を申し出ました。

大正12年に龍野小学校校舎の一部に簡易図書館が開設され、翌年には地域の篤志家たちの尽力により、醤油組合の旧事務所の提供を受けて改造移転しました。

初代館長は当時の小学校長が兼ね、やがて、龍野町関係者から図書館設立のための寄附金が集まり、地域の人々の力で図書館は単独館となり、揖保郡下初の図書館「龍野町立龍野図書館」として開館しました。

龍野町立龍野図書館
(大正13年当時)



その後、昭和26年に市制施行により、「龍野市立龍野図書館」と名称変更しました。

昭和30年には、龍野の文化の発展を図るため、郷土出身の先人たちが残した著作物や郷土関係の資料を後世に残す措置をと、龍野町で郷土に関係ある一切の文献及び資料を集めようとする運動がおこりました。そして、昭和33年、図書館内に「龍野文庫」が創設され、龍野藩主脇坂家の歴代当主の書簡や龍野藩政に関わる古文書、江戸時代の町会所日記など貴重な資料が保存されました。現在、「龍野文庫」は、市が運営する龍野歴史文化資料館に移管されています。

昭和40年、龍野城址の市立龍野中学校旧校舎へ移転し、図書館として開館しました。その後、龍野城址の整備計画が進む中、昭和55年5月、地域の人々の希望もあり、龍野町本町に新築移転し、現在に至ります。

今年度、龍野図書館創立100周年記念行事の一環として、利用者の方から龍野図書館に纏わるエピソードなどの思い出を募集したところ、旧図書館で過ごした青春や図書館で借りた本、当時の図書館職員とのエピソードなど、さまざまな思い出が寄せられました。また、当時の写真や新聞記事などを館内に展示し、これまでの図書館の歴史を振り返りました。

記念講演会では、元日本大学教授の近藤健史氏を迎え『三木露風と龍野図書館』と題し、露風の故郷龍野に対する思いや図書館との関わりについてお話いただきました。なかでも「露風の見た龍野の風土と龍野人の気質」について話された場面では、参加された方々が、露風なりの視点に興味深く頷かれたり、笑いが起きたりと、大変充実した講演会となりました。

私たち図書館職員は、このような記念行事を進めるなかで、龍野図書館が郷土の文化の保存と発展を願う地域の人々の支援により、成長してきた過程を知る良い機会となり、改めて図書館の果たす役割を認識することができました。

たつの市立龍野図書館
(現在)



司書として日々の図書館サービスを懸命にこなす今も、その仕事の積み重ねが、龍野図書館の歴史の一部となり次へ繋がっていることを肝に銘じながら、利用者一人ひとりと丁寧に接していきたいと思えます。

来年度は、4市町が合併し「たつの市」が誕生して20周年を迎えます。市内には、4つの図書館があり、それぞれに個性があります。合併後は、4館が持ち味を活かしつつ、相互協力し合いながら運営を続けています。複数の館を利用されている方は、その個性を上手く使い分けて利用されているようです。

このような節目の年を迎え、ますます多くの方に愛され利用していただけるよう、図書館サービスの充実に努めてまいります。

図書館開館30周年を迎えて

新温泉町立加藤文太郎記念図書館 係長 まつおか 松岡 かずたか 一孝

新温泉町立加藤文太郎記念図書館外観



新田次郎の名作として今なお多くの読者を魅了する『孤高の人』。その主人公・加藤文太郎は、大正末期から昭和初期にかけて活躍した実在の人物です。新温泉町立加藤文太郎記念図書館は、加藤文太郎への顕彰として平成6年10月に開館しました。

令和6年10月には開館30周年を迎え、様々なイベントが開催されました。

①登山イベント



②マジックショー

①10月12日には『ヨーデル食べ放題』の作詞作曲者として知られ、『加藤文太郎の歌』を手掛けたフォークシンガーであるリピート山中氏を迎え、標高1,310mの扇ノ山への登山イベントを開催しました。

町内外から訪れた参加者27名の道中には、冬山の厳しい積雪と強風が生み出したゾウのような形の木や、ト音記号のように360度回転した木、ジブリ映画に出てきそうな大樹など、様々な自然の驚異がそこにありました。

②兵庫県出身で世界的に活躍中のマジシャン・片山幸宏氏によるマジックショーでは、観客の大人も子どももステージに呼ばれ、片山氏と一緒に不思議なマジックを体験しました。次々と増えるワインの瓶や、長さが自由に変わる不思議な紐に、会場からは「わあ！」という驚きの声が響きました。

片山氏の軽妙なジョークに笑いの絶えない、終始和やかな雰囲気でのショーでした。

③野口健氏講演会



④紅葉の山脈

③10月26日には、七大陸最高峰を制覇し、環境保護活動にも尽力しているアルピニスト・野口健氏をお招きして、勇気と情熱に溢れる時間をお届けしました。

野口氏にとって人生の道標となった本は植村直己の『青春を山に賭けて』でした。少年時代の旅のさなかに訪れたその出会いに、まさに衝撃を受けたそうです。出逢うべき時に逢った一点の光であり、旅を続けながらその本を読みふけたとのことでした。

講演に先立ち、当館を訪問されました。加藤文太郎の遺した登山道具や写真に熱心に見入り、当時に思いを馳せる野口氏の、豊富な経験と知識で先人に向けた様々な思いを語る姿が印象的でした。

④来館された方に、図書館での30年間の思い出や心に残った本についてのメッセージを紅葉形のカードに記入していただき、皆さんのメッセージによって、美しい紅葉の山脈が形作られました。

⑤図書館プログラミング実習室



⑥Instagram



KATOBUN_LIB

⑤加藤文太郎の技術者としての側面を受け継ぎ、『図書館プログラミング実習室』と題して子どもたちがプログラミングに取り組むワークショップを開催しています。今年度には50回を迎えることができました。

本年1月の大学入学共通テストでは新教科『情報I』の試験が始まりました。プログラミングに触れる機会はますます重要になっていくことでしょう。

⑥インスタグラムの当館公式アカウントでは、イベントの様子や図書館だより、館内の様子など、様々な記事をお届けしています。ぜひご覧ください。

来フワリ~

地区別研修会を運営して

南あわじ市立図書館 かわの河野 さおり沙織

この度初めて地区別研修会を担当させていただきました。今年度から運営方法が変更されたこともあり、前任者や県立の方にお世話になりながら何とか無事12月に実施しました。兵庫教育大学附属図書館の永井一樹氏・山下真人氏に「VUCA時代の図書館ブランディング：あいまいもこを楽しむ」というテーマで、先行き不透明な時代の図書館のあり方についてご講演いただきました。特に当市では、利用者も運営側も“本がいっぱいあって無料で貸出できる所”という従来のイメージから抜け出せない現状です。これからの公共図書館の可能性を広げるためにコンセプトをゼロベースで考えてみるきっかけをいただきました。

講師の先生と、希望の講義内容や地区の悩みを直接お伝えしてやりとりできたことは貴重な経験になりました。研修の流れや準備など、県の担当の方に教えていただいたことも他の研修のときに大変参考になりました。

ランガナタンの5法則「図書館は成長する有機体である」ことが、市民に必要とされ続ける図書館に近づけると考えています。有機体の成長に貢献できる司書になれるよう、人との出会いを大切に学んでいきたいと思いました。

県内図書館の取り組み紹介

第1弾

神戸「本」の文化振興プロジェクト

神戸市立中央図書館 みやもと宮本 かすみ佳純

紙の出版物の売上げが減り、各地の書店が減少している中ですが、神戸市内には魅力的な出版社が複数あり、また個性の光る独立系といわれる書店は増えています。

そんな神戸市では、出版社・書店と連携し、「本」と人の出会いの場を作ることで、「本」を読む人、「本」を買う人を増やし、神戸の「本」文化を振興することを目指すプロジェクトを開始しました。

中央図書館では、市内出版社と連携し、会社紹介パネルや出版物を展示する「神戸で本をつくる一市内の出版社紹介コーナー」を設置しています。

また、外部アドバイザーに北田博充氏（梅田蔦屋書店店長／書肆（しょし）汽水域（きすいいき）（一人出版社））を登用し、若年層など「これからの読者」の開拓に取り組んでいます。昨年実施した人気インスタグラマーを招いたイベントや、関西の複数の書店の経営者・店長に登壇いただいたイベントでは、幅広い年齢層に参加いただき手ごたえを感じました。

兵庫県図書館協会への思い

兵庫県立図書館 ふたやぶ二数 こういち浩一

令和4年度より県立図書館に赴任し、翌年の令和5年度より、兵庫県図書館協会の事務局を担当し、今年度で2年目に突入しました。私が事務局に就任してから、様々な業務改善を試みたことで、長年、県内の公共図書館に勤務する方々は違和感をもたれたかもしれませんが、担当者の皆様には多大なご負担を強いる形となり、数々のご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げますとともに、日頃よりご協力いただいている皆様には改めまして深く感謝申し上げます。

事務局の仕事内容も多岐に渡り、照会業務や依頼業務、予算管理や研修運営など様々あります。中でも、研修運営に至っては細心の注意を払って進めるだけでなく、当日の臨機応変な対応も求められ、本当に大変な仕事でした。それでも参加者の皆様の「参加して良かった」、「企画していただきありがとうございます」といった感想をお聞きし、大変な中にもやりがいや充実感もあり、昨年8月から新米パパとして育児に奮闘する私自身にとっても、非常に大きな原動力となっています。

事務局を担当させていただき、県内の公共図書館の皆様と一緒に協会の業務に携わることができた経験は、私にとって何ものにも代え難い貴重な財産となりました。4月からはまた新たなスタートとなり、今後の事務局の体制もまだ不透明ではありますが、皆様と一緒に兵庫県図書館協会を盛り上げていけるよう、これからも仕事に励んでいきたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願いたします。

3月22日（土）には市内外の書店に多数集まっていた「KOBE BOOK FAIR」を六甲アイランドにおいて初開催します。今後も「本」にまつわる多彩な取り組みを行ってまいります。

世界を
ひろげる、
ほんとの
出会い。

神戸「本」の文化振興プロジェクト

この事業を一体感を持って進めるため、広報を行う際に活用するロゴ・キャッチフレーズを作成しました。

・港町神戸の色
青い海と、ポートタワーや神戸大橋の赤で表現

・本の船で世界に
本を積み重ね船に見立てている

※神戸市出身の書体デザイナー神田友美氏がデザインした書体「カッコウ」をロゴの書体に使用

○ **兵庫県立図書館**

第5期システム・オンライン利用登録開始(1/4)／県立図書館開館50周年記念事業(記念式典・玉岡かおる氏トークイベント「書籍の森で時間を止めて～読書の醍醐味と人生～」・図書館バックヤードツアー)(10/21)／全国高等学校ビブリオバトル兵庫県大会2024(11/24)

○ **神戸市立図書館**

神戸「本」の文化振興プロジェクト開始(7/1～)／令和6年度近畿公共図書館協議会研究会「子どもの読書環境の変化と読書環境のデザイン」(8/23)

○ **西宮市立図書館**

「西宮市立中央図書館移転整備基本構想及び基本計画」の策定(9/25)

○ **芦屋市立図書館**

特別企画「楽しく読むゾウと行く世界絵本旅行!!」(国際図書館連盟の「絵本で世界を知ろうプロジェクト」により、国際子ども図書館の寄贈本を借りて日本語と外国語の絵本展示・読み聞かせイベント)(2/3)／新ホームページ導入・図書館管理新システム稼働(3/1)／打出分室プレオープン・リニューアルオープンイベント(3/31)／IC機器・ゲート・自動貸出機導入、市立図書館の所管が市長部局に移動(4/1)／予約図書セルフ受取棚スタート(4/3)／「図書館で調べる学習」講座(8/6)／niwa-doku2024(図書館周辺文化ゾーンにてお庭で読書を楽しむイベント)(10/5)

○ **伊丹市立図書館**

「伊丹子ども電子図書館」開館(10/1)

○ **宝塚市立図書館**

第4期宝塚市子どもの読書活動推進計画策定(4/1)／図書館システム更新・セルフ貸出機導入(4/4)／スマートフォンで利用券表示による貸出利用開始・図書館公式LINE開始(5/14)【**西図書館**】宝塚市立西図書館会館30周年記念行事「インドのえほんとなふしぎな楽器スタイルとタブラ演奏会」開催(9/1)／宝塚市立西図書館会館30周年記念クリアファイル・しおり配布(11/2)

○ **川西市立中央図書館**

セルフ貸出機導入(3/1)／調査相談室の開室時間を変更(平日19時まで→平日17時まで)(5/8)

○ **三田市立図書館**

図書館システムと電子図書館連携(1/24)／マイナンバーカード連携・オンライン登録開始(1/27)／市内市民センター等施設での予約受取サービス開始(6/1)／市内郵便局6局での予約受取サービス開始(10/1)

○ **加古川市立中央図書館**

スマートフォン、タブレット等に図書館カードのバーコードを表示させることによる貸出処理を開始(8/1)

○ **小野市立図書館**

第三次小野市子ども読書活動推進計画策定(4/1)／子どもの読書週間イベント「司書からの挑戦状」(4/24～5/27)／読書週間イベント「レファレンスってなに？」(10/21～11/18)／読書週間イベント「一日図書館員体験」(10/26・11/2)／読書週間イベント「親子

de図書館探検」(10/27・11/3)／図書館システム更新・FreeWi-Fi設置・ホームページリニューアル・マイナンバーカード貸出再開・市公式LINE連携・電子図書館の貸出点数変更(20点→3点)・児童図書コーナーに「りんごの棚」設置(11/27)／市制70周年記念展示(11/27～12/28)／中学生読書新聞展示(12/9～R7.1/10)

○ **加西市立図書館**

親子落語会(10/13)

○ **加東市立図書館**

図書の宅配サービス事業開始(1/24)／ブックスタート事業開始(8/22)

○ **多可町図書館**

公式Instagramの開始(5/24)

○ **たつの市立龍野図書館**

龍野図書館落成100周年記念行事(11/1～12/27)

○ **上郡町立図書館**

タブレット館内利用開始(2/1)／貸出冊数改定<5冊→10冊>(8/1)／絵本に出てくるお菓子づくり講座(8/4,18)／読書講演会のあゆみ展(9/3～15)／土井善晴講演会(9/8)／認知症関連図書展示(9/10～9/31)／「人権のつどい」関連図書展示(11/12～12/8)

○ **豊岡市立図書館**

一般向け電子図書サービス開始(5/10)／公式LINE開始(7/12)

○ **朝来市図書館**

公式LINEの開始(5/23)／貸出券とマイナンバーカードの連携停止(5/28)／公式Instagramの開始(11/1)／【**あさご森の図書館**】床改修工事により土足で入館可(11/2)

○ **丹波篠山市立中央図書館**

電話での貸し出し期間延長の開始(4/1)／開館20周年記念事業「図書館の思い出展」(3/5～24)／斎藤惇夫氏講演会「私を育ててくれた図書館」(7/14)／子ども図書館使い方講座(7/28)／ウィキペディアタウンin丹波篠山～篠山の怪談七不思議～(11/24)

○ **丹波市立中央図書館**

第2次「丹波市立図書館のあり方」および「丹波市立図書館基本計画(丹波市子ども読書活動推進計画)」策定のため基礎調査等を実施／市民アンケート(無作為抽出)・図書館利用者アンケートの実施(7/11～8/9)／市民ワークショップ(ファシリテーター：総務省地域情報化アドバイザー岡本真氏)(7/21)／市政20周年記念事業 絵本作家講演会(講師：絵本作家 真珠まりこ氏)(11/23)／市民向け基調講演会(講師：京都橋大学教授 嶋田学氏)(12/1)

○ **南あわじ市立図書館**

貸出冊数改定(7冊→10冊)(4/1)

兵庫県図書館協会会報 No.126
令和7年3月1日 発行
編集・発行：兵庫県図書館協会
〒673-8533 明石市明石公園1-27(兵庫県立図書館内)
Tel 078-918-2586 Fax 078-918-2500